

川合健二邸：コルゲートの家

月の始めにHPを更新してるのですが、今月は、体調を崩し今になりました。

この間、静養しながら「金属の家」というテーマで資料を見ながらまとめていました。金属の家といえばやはりコルゲートの家に住んでいた「川合健二」氏の書籍を読んでみました。

石山氏は川合氏からの示唆が多くあったとの記事を目にしましたが、川合氏の考えていることは、私は良く知りませんでした。都庁の空調などに携わった設備設計の専門家とっていました。

どういう人か、コルゲートの家がどうなっているのか知りたくて書籍を調べてみたところ、「川合健二 マニュアル」という書籍が比較的新しいので。その本を読み出しました。

彼は、建築や設備は全くの素人で全くの独学で自然界に対する考え、ガソリンやジゼルエンジンに対するメカの本質、エネルギーの総量の利用方法など、機器類など世界を見て回り時代の先端を研究し、常に前進して業界に影響を与えて学者的でなくプロ中のプロの方と解り驚きです。

川合健二氏経歴、1913年11月 愛知県豊橋生まれ

東京都庁舎の設備担当、香川県庁舎、図書印刷原町工場など、丹下健三の設備を手掛ける。1966年コルゲート川合邸竣工、スチーム・タービンを用いたトータル・エネルギー装置を設計、など。1996年12月没。2004年川合健二郎が「日本建築家協会 25年賞住宅部門」を受賞。川合健二マニュアルより



①



②

写真

①川合健二マニュアルの本 編集出版組織体アセテート

②コルゲートの家に前に川合ご夫妻 編集出版組織体アセテートのページより